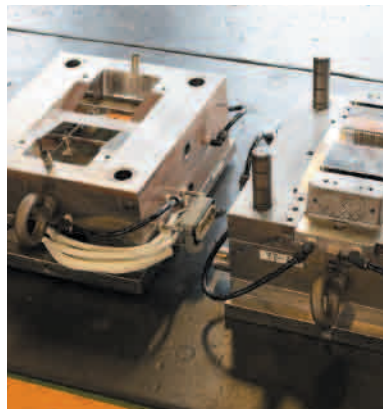


サカセ化学工業 株式会社

対象類型 ものづくり技術・プラスチック成形加工
試作開発・設備投資の別 設備投資のみ
主たる目的 生産性向上

病院仕様プラスチック製カート・キャビネットの 短納期生産体制の構築



1／製品の社内一貫生産体制と短納期の強化に向け導入した5軸制御高性能マシニングセンタ。 2／プログラミングソフトにも習熟し、マシニングセンタを様々な用途に活用している。 3／高性能マシニングセンタで加工した金型。 4／医療用カートは機能性に加えデザイン性にも優れる。

5軸マシニングセンタで社内一貫生産体制を築きオンリーワンを強化。

プラスチックや金属など独自の加工技術を活かし、全国の病院に医療用キャビネットやカートなどを提供。企画、開発、設計、デザインなど医療現場それぞれの要請に個別に対応する物品管理システムにより、国内シェアナンバーワンを確立している。顧客ごとの特別仕様の製品を短い納期で生産するため、5軸制御高性能マシニングセンタを導入。製品の中心であるプラスチック射出成形品の内製化を強化し、企画・開発・設計から生産までの社内一貫体制を構築して機能性とデザイン性をさらにアップさせた。

プラスチック製品用の金型は社内でも作っていたが、完成まで約2～4カ月かかり、外注が多くなっていた。しかし、外

注では修正があると何度も行き来するなど無駄が多く、工期、コスト面からも高精度・高速加工マシンの導入が不可欠となっていた。本事業により加工速度が約5倍に伸びたほか、金型だけでなく治具や省力機部品製作も即時対応が可能になり、加工・仕上げの精度も向上。金型製作工程が約25%短縮できたほか、金型製作の内製化30%が70%に高まった。CAD/CAMにも習熟し、無人作業による省力化も実現している。

本事業による 付加価値

航空機分野でも
新製品を受注し、
販路広げる。

航空機産業のプラスチック成形品は、寸法測定や後加工などが多い。高精度の曲面加工で威力を発揮するマシニングセンタで年に2～3種ずつ新製品を受注。航空機分野の売り上げは3年前に比べ約10倍に伸びた。

今後の展望

金型の最終仕上げも
マシニングセンタを活用へ。

これまで手作業で行っていた金型の最終仕上げや鏡面磨きの工程を、マシニングセンタで加工することを考えている。加工から仕上げまで1工程で行うことにより、納期の短縮と人員不足解消に期待をかける。

販路への期待

製品の魅力アップ。
受注・生産可能な製品も
広がる。

病院向け製品は機能・デザイン性追求により付加価値が向上。金型、治具など様々な加工の内製化で、半導体や航空機産業用部品など、これまで対応できなかった部品の受注・生産を目指している。

ものづくり専門員から一言

“白”の壁を超えたのは、
巧みなイメージ戦略。

病院のイメージは従来「白」が定番。同社は、患者さんへの“医療効果”や“心地よさ”を追求し、病院向けラックやカート等に“パステル色”を提案。機能性に“心理的要素”が加わったデザインは、治療効果への反映と病院のイメージ戦略により同社の主力部門に成長。ものづくり補助金導入設備による短納期化からカスタムメイド化への展開が、日本の医療を支えて行く。

こんな会社です！

医療分野から最先端産業まで貫く メイド・イン・サカセ。

創業以来、50余年の歴史の中でプラスチック射出成形、シリコンゴム成形、ステンレス・アルミなどの金属加工、木材加工と様々な技術と経験を積み重ねてきました。その技術をもとに開発・設計・製造・販売・アフターフォローに至るまで、一貫して自社工場で行う強みを活かした「マスカスタマイゼーション」により国内トップシェアを確立しました。医療分野から産業分野へ。既存のプラスチック成形から最先端応用加工技術へ。多様化・高度化・複雑化するニーズに丁寧にお応えする商品・サービスで、お客様にとって一番必要なものをお届けする企業を目指します。



優しいパステルカラーの病院用キャビネットやカートが並ぶ本社ショールーム。



製造本部技術部次長
兼 技術1課課長
栗原 泰道さん



本社・工場

サカセ化学工業 株式会社

代表者：代表取締役社長 酒井 哲夫
設立：1962年(昭和37年)1月17日
資本金：9,600万円
従業員数：171名

事業内容：医療用キャビネット・カート、
医療用具、各種プラスチック・ゴム・木・
ステンレス・アルミ製品の企画・開発・
設計・製造・販売

本社：〒910-0147 福井市下森田町3-5
☎ 0776-56-1122 FAX 0776-56-3698
<http://www.sakase.com/>